

千城台地区における中学校の適正配置の必要性 論点整理表

○…賛成意見、×…反対意見、無印…どちらともいえないもの

〈千城台西中と南中が統合した場合〉	論点	〈千城台西中と南中が統合しない場合〉
<p>○ 適正規模(12~24学級)になる。 〈意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちが増える。 ○ 生徒数の多い方が、向上心の育成につながり、学習効果が高められる。 ○ 体育祭などの学校行事の活性化により、学校自体が盛り上がる。 ○ 高校は人数が多いので、高校へ入学した時に適応しやすい。 × 生徒同士や教員との人間関係が希薄になりやすいと思われる。 × 統合すると生徒どうしのトラブルが増える可能性がある。 	<p>クラス・生徒の数</p>	<p>小規模校化が続く。 〈意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現状の3クラス程度が運営上、望ましい。体育祭等、行事の盛り上がりも現状でちょうど良い。 ○ 現状の規模であれば、小規模校ゆえの不自由さを感じない。(現状の学校に満足している。なぜ統合しなければならないのか不明である。現状の学級規模なら統合は早すぎる。) ○ 生徒指導上の問題や不登校の問題も地域に2校あった方が分散される。 ○ 2校あると学校どうしで切磋琢磨ができる。
<p>× 若干遠くなり、時間のかかる生徒がでる。 〈意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学生なら多少、通学距離が長くても支障がない。 	<p>通学距離</p>	<p>現状と変わらない。</p>
<p>○ 中学校1校あたりの教職員数は増える。 ○ 全教科の教員を配置することができる。 ○ 一教員の校務分掌の量が若干減り、その分、生徒と接する機会が増える。</p>	<p>教職員の数</p>	<p>現状とほぼ変わらない。 × 免許外教科の担当が出る可能性がある。 〈意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 統合した場合、生徒の数はほぼ倍に増えるが、教職員数は倍には増えない。現状の両校の規模だと、全先生の目が全校生徒に届きやすい範囲であり、受験指導や生徒指導面でもきめ細かな対応をとってもらいやすい環境であると思われる。
<p>○ 部活動の数が増える。 ○ 1つの部活動の部員数が増え、活発になる。 ○ 部活動の顧問数について、余裕のある職員配置が可能となる。 〈意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> × 部の数が増え、部員が増えると活動場所の確保ができず、一人ひとりの活動範囲が狭くなる可能性がある。 	<p>部活動</p>	<p>現状とほぼ変わらない。 〈意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動の指導は地域に協力を求めて指導者を確保することが可能ではないか。 × 部によっては、集団競技で人数が足りない種目(活動)が出てくる。
<p>○ 解消できる。</p>	<p>学区のねじれ</p>	<p>そのままでは解消できない。解消するためには別途、東小通学区の変更が必要になる。</p>
	<p>その他</p>	<p>〈意見〉</p> <p>中学校で実施したアンケートの結果、南中、西中共に概ね生徒75%、保護者60%が統合反対である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 悩みを抱えた生徒にとっては2校あることは必要である。 ○ 受験期の生徒がいる中学校において、統合は慎重に判断すべきである。 ○ 統合すると特別支援学級の生徒が慣れるのに大変である。